

第1回成年年齢引下げに伴う成人祭対応検討委員会（庁内委員会）における意見について

- 今後、18歳を対象にするなら、実施時期を考えなければならない。
- 3世代を対象にすると、会場の確保や、地域分散方式で実施は可能なのか。
- 3世代を対象に開催するとしても、地域は協力できないのではないか。
- 3世代を対象にして、例えば3日間に分ければ開催できるのではないか。
- 3世代が対象となると、成人祭後、同窓会などが開催されたときに、18・19歳もその場の雰囲気や飲酒をしてしまうのではないか。それならば21歳を対象とするほうが良いのかもしれない。
- 例えば3日間に分けて開催したとしても、レンタルした着物については翌日に使用することはできないし、最低でも1か月は期間をあけないといけないということである。基本的には「はたちのつどい」が良いのではないか。
- 18歳であれば制服で参加するのではないか。若者の着物離れが進んでいて、20歳の時しか着物を着る機会がない中で、制服という選択肢が出てくるとなると、業界への影響は非常に大きい。
- 京都市が20歳を対象とするのを決定したのも、和服を衰退させないためという理由であり、国にもそのように報告している。
- 法律で成人が18歳となれば、その整合性をどうすべきかという問題になってくる。
- 今後、もし枚方市が20歳を対象に成人祭を開催するとしても、18歳になれば新成人となるので、自覚を持っていただくために何かしないといけない。
- 例えば20歳を対象として選挙のリーフレットを配布するように、18歳には18歳になることで何が変わったのかを伝えるというのはどうか。